

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成22年2月18日)

項目	ページ
1 「鳥取暮らし農林水産就業サポート事業」及び「鳥取へI J U!アグリスタート研修事業」の実施状況について 【経営支援課、森林・林業総室、水産課】	1
2 「第31回全国豊かな海づくり大会」のテーマ及びキャラクターについて 【水産課】	2

農 林 水 産 部

「鳥取暮らし農林水産就業サポート事業」及び「鳥取へIJU! アグリスタート研修事業」の実施状況について

平成22年2月18日
 経営支援課
 森林・林業総室
 水産課

1 鳥取暮らし農林水産就業サポート事業

(1) 事業の活用状況

本事業を活用し、農林漁業及び食品加工産業において新たに357名(1月31日現在)の雇用が創出され、現場での実践的研修に取り組んでいる。

	事業名	助成対象者	6月補正後 雇用創出 目標(A)	採択数(B)
農 業	鳥取県版「農」 の雇用 緊急支 援事業	新規就業者早期育成支援事業	農業法人、農業参入企 業、農業者等	158名 177名 (うち国庫100名)
		就農研修支援事業	農地保有合理化法人	28名 30名
		県産農林水産物加工業者雇 用支援事業	食品加工業者	34名 21名
	計			220名
林 業	鳥取県版緑の雇用対策緊急支援事業		林業事業体	77名 73名 (うち国庫39名)
	木材産業雇用対策緊急支援事業		製材工場等の事業体	42名 36名
	計			119名
漁 業	漁業雇用促進緊急対策事業		漁業経営体	25名 20名
合 計			364名	357名

(2) 事業に対する雇用主の声

- 技術習得期間は1年では足りず、継続した支援をお願いしたい。
- 雇用を継続していくためには、それに見合った規模拡大、新部門導入等が必要。
- 独立して就農するためには初期投資が必要であり、3年程度のバックアップが必要。

(3) 平成22年度当初予算での検討方向

雇用の継続、拡大のためには、受け皿となる農業法人等の経営発展が必須であることから、継続雇用による更なる所得向上を目指す農業法人等に対し、2年目以降の研修経費を継続支援(2年目6.5万円/月、3年目4万円/月)するとともに、機械・施設整備についてはチャレンジプラン支援事業の県補助率を1/3から1/2に引き上げ。

2 鳥取へIJU! アグリスタート研修事業

(1) 事業の概要

(財)鳥取県農業農村担い手育成機構(以下「機構」)が、県内での就農又は農業法人等への就職を希望するIJUターナー者等を研修生として雇用し、農業法人等を受入先とした実践研修を実施することにより、雇用拡大及び新規就農者の確保育成を図る。

(2) 研修生の状況と今後の予定

	第1期研修生	第2期研修生
研修期間	平成21年9月～平成22年8月	平成22年4月～平成23年3月
人数	13名(県外者8名、県内者5名)	15名(県外者13名、県内者2名)
現在の状況	11月から本格研修に移行し、機構の研修支援員や受入先の研修指導員の指導を受けながら、順調に実践研修中。	関西圏を中心に50名(県外者35名、県内者15名)の応募があり、書類・面接審査を経て1月下旬に15名の研修生を決定。
今後の予定	2～3月 就農方向の検討・決定 9月 研修終了 10月 法人就職、自立就農	2月 研修生と受入農家のマッチング 3月上旬 受入農家の決定 4月～ 研修開始

※第2期研修生

【出身地別人数】

大阪	兵庫	京都	広島	岡山	神奈川	福島	長野	北海道	県内	計
4	2	1	1	1	1	1	1	1	2	15名

【年齢別人数】

20代	30代	40代	50代	60代	計
2	7	4	1	1	15名

「第31回全国豊かな海づくり大会」のテーマ及びキャラクターについて

平成22年2月18日

水産課

「第31回全国豊かな海づくり大会」の開催に向け、大会に対する県民の理解を深め、親しみやすい大会とするため、大会テーマ及びキャラクターを公募し、決定した。

1 大会テーマについて

- (1) 応募状況 315点
- (2) 審査委員 別紙のとおり
- (3) 審査部会 平成22年1月20日(水)
- (4) 最優秀賞 「つくろうよ **みんなが笑顔に なれる海**」
鳥取市 うえしま植嶋 ゆう悠 さん(中ノ郷中学校 一年生)

2 大会キャラクターについて

- (1) 応募状況 830点
- (2) 審査委員 別紙のとおり
- (3) 審査部会 平成22年1月5日(火)
- (4) 最優秀賞 新潟県 上越市 かなづ金津 ひろし博 さん



(5) キャラクターの愛称について (募集中)

- ・ 応募期間 平成22年2月5日～平成22年3月19日
- ・ 審査決定 平成22年3月下旬を予定

3 表彰および活用等について

- ・ 4月下旬に、大会テーマ、キャラクター、愛称の3部門の表彰式を実施予定
- ・ キャラクターは、着ぐるみを作成
- ・ 看板、ポスター・のぼり旗、大会関連グッズ等に取り入れ、鳥取県での開催をPR

審査委員について

1 大会テーマ

職名	氏名
鳥取県連合婦人会 会長	井上 耐子 (いのうえ たえこ)
鳥取大学地域学部 地域文化学科 准教授	榎木 久薫 (えのき ひさしげ)
鳥取県歌人会 会長	北尾 勲 (きたお いさお)
鳥取県川柳作家協会 会長	小林 由多香 (こばやし ゆたか)
鳥取県立境港総合技術高等学校 海洋科 教諭	高石 由紀子 (たかいし ゆきこ)
財団法人鳥取県文化振興財団 理事長	武田 勝文 (たけた かつふみ)
株式会社新日本海新聞社 執行役員営業局長	田中 仁成 (たなか きみなり)
株式会社山陰中央新報社 鳥取総局長	安井 徹仁 (やすい てつひと)
鳥取県教育センター 研修主事	淀瀬 由美 (よどせ ゆみ)
第31回全国豊かな海づくり大会鳥取県実行委員会 副会長	伊藤 美都夫 (いとう みつお)
第31回全国豊かな海づくり大会鳥取県実行委員会 幹事長	鹿田 道夫 (しかだ みちお)

※専門家の方は、氏名50音順

2 大会キャラクター

職名	氏名
鳥取県デザイナー協会 会長	植木 誠 (うえき まこと)
鳥取県美術家協会 会長	上田 敏和 (うえだ としかず)
鳥取県産業技術センター産業デザイン科 科長	草野 浩幸 (くさの ひろゆき)
社団法人鳥取県観光連盟 観光大使	小林 奏子 (こばやし かなこ)
日本海テレビジョン放送株式会社 営業部次長	坂野 靖 (さかの やすし)
鳥取県教育センター 指導主事	佐藤 真菜 (さとう まな)
鳥取県立博物館 美術振興課 学芸員	竹氏 倫子 (たけうじ ともこ)
鳥取短期大学 講師	前田 夏樹 (まえだ なつき)
日本放送協会鳥取放送局 放送部長	山本 徹 (やまもと とおる)
第31回全国豊かな海づくり大会鳥取県実行委員会 副会長	伊藤 美都夫 (いとう みつお)
第31回全国豊かな海づくり大会鳥取県実行委員会 幹事長	鹿田 道夫 (しかだ みちお)

※専門家の方は、氏名50音順